

会員数	39,474	(前月比) + 38
郵送	3,291	(前月比) + 0
手配り	27,842	(前月比) + 20
協同基金到達額	2,518,099,000円(3/31現在) [前月比 4,364,000増]	
協同基金出資者数	20,448名(3/31現在)	
いのちを守る助け合い募金額	20,918円(3/1~31)	



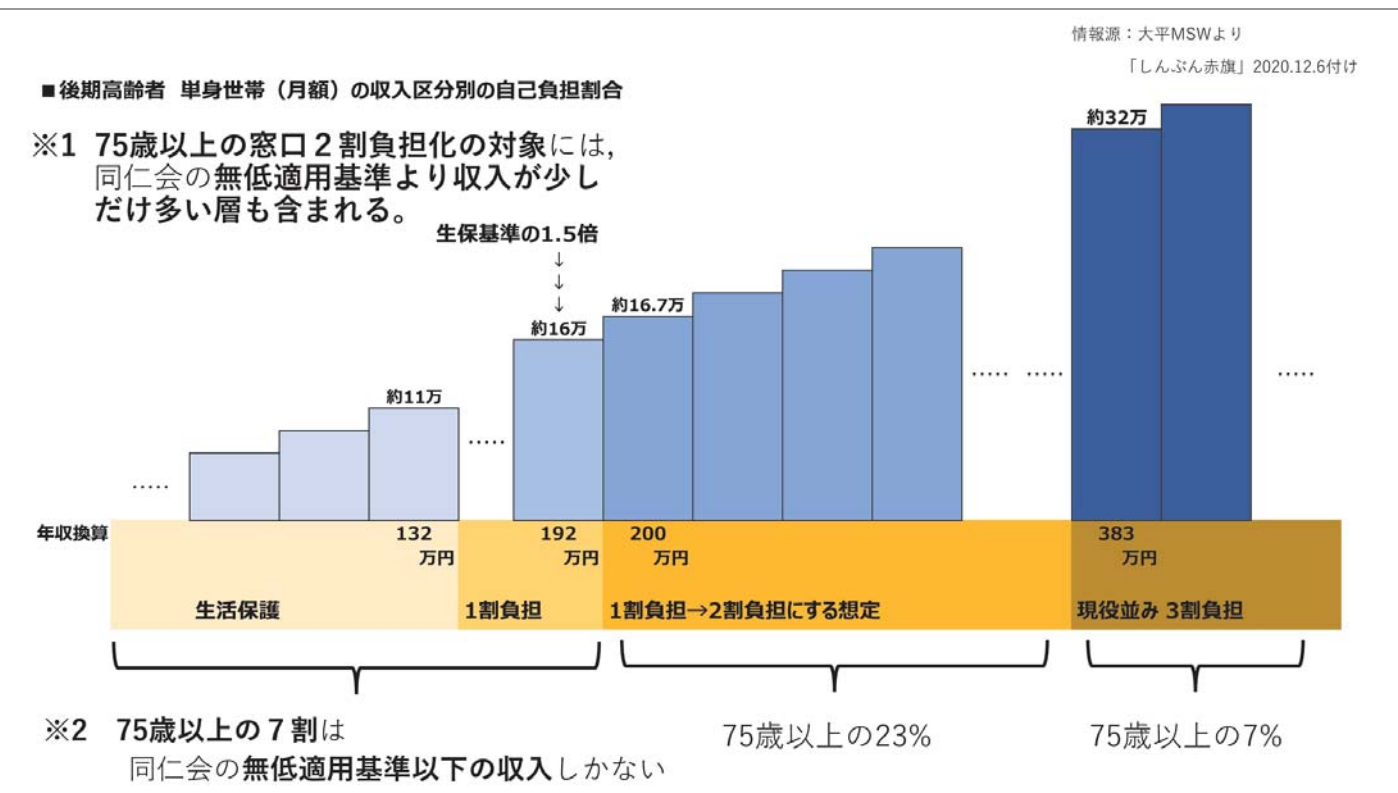
発行
健康友の会 みみはら
本部事務局組織部
機関紙編集委員会
〒590-0821
堺市堺区大仙西町6丁184-2
Tel.072-244-8061
Fax.072-244-7860

1部30円



窓口での

75歳以上の医療費2割負担



**社会保障の理念を
捻じ曲げる管内閣**

菅内閣は、75歳以上の医療費を2割負担にすることを柱とする医療制度改革関連法案を国会に出しました。2022年度後半からの導入予定で、今国会での成立を目標としています。

指しています。対象者は単身世帯で年収200万円以上、夫婦世帯で320万円以上とし、約370万人が見込まれています。

後期高齢者は一人当たりの医療費が高いため、現在の1割負担でも受診を控える人が多く、一部

負担の引き上げは受診抑制が深刻化し、高齢者の生存権が脅かされることになりそうです。削減される公費は年980億円。「現役世代の負担を軽くするため」としていますが、今回の見直しによる現役世代の負担減は、1人当たり年350円しか

新たに導入を狙う75歳以上の医療費2割 所得区分

	単身世帯(年収)	複数世帯(年収)
3割負担	383万円以上	520万円以上
2割負担	200万円以上	320万円以上
1割負担	200万円未満	320万円未満

世帯内の高齢者の中で課税所得が最大28万円以上の方がいる世帯も対象

*厚生労働省の資料を元に作成

代負担を増やしているのが実態です。社会保障を「国の責任」から「自助を基本とした助け合い」にすり替えて、憲法25条に基づく「権利としての社会保障」から「互助としての負担」へと理念が捻じ曲げられています。

「75歳以上医療費窓口負担2割化に反対する請願署名」に取り組んでいます。多くの方のご協力をお願いします。

子高齢化で現役世代の負担が上昇する」といって世代間対立をあり、全世代の負担を増やしているのが実態です。社会保障を「国の責任」から「自助を基本とした助け合い」にすり替えて、憲法25条に基づく「権利としての社会保障」から「互助としての負担」へと理念が捻じ曲げられています。

「いのちの署名」のハガキ署名に寄せられた声

が上昇する」といって世代間対立をあり、全世代の負担を増やしているのが実態です。社会保障を「国の責任」から「自助を基本とした助け合い」にすり替えて、憲法25条に基づく「権利としての社会保障」から「互助としての負担」へと理念が捻じ曲げられています。

「いのちの署名」のハガキ署名に寄せられた声

コロナ禍から国民のいのちと生活を守るため、医療・介護の拡充を求める「いのちの署名」に取り組んでいます。ハガキ署名の一言欄に寄せられた声です。

- ・国民健康保険料が高すぎます。
- ・障害者、高齢者が安心・安全に生活できる社会を願っています。
- ・福祉は人で成り立っている。人の拡充が必要なこと、人の命をまもろう。
- ・75歳以上の後期高齢者への医療費2割負担には反対です。軍事費を医療にまわせ。
- ・病院の統廃合や病床削減は絶対反対です。
- ・国も大阪府ももっとまじめに感染症対策を進め、検査や補償をしっかりしてほしい。
- ・オリンピックは中止して！国民のいのちを守るためには医療、介護の充実が先でしょう。
- ・病院にかかりやすいようにもっと医療保険や診察料、くすり代などを安くしてほしい。
- ・今の高齢者が若い時に頑張ったから今の日本がある。高齢者をもっと大事にする福祉制度を考えてほしい。
- ・国民のいのちと健康を守るためのあらゆる国民負担の軽減を図ることを切に望みます。



「憲法9条に自衛隊を盛り込む」と提起したが、国民が止めた。戦争に協力するか、しないかの選択を迫られない社会にしなければならぬ。(和)

「75歳以上医療費窓口負担2割化に反対する請願署名」に取り組んでいます。多くの方のご協力をお願いします。

聴診器

テレビ番組『NNNDキュメント21』で今年1月、「校歌、コロナ禍に響け絆の歌」が放映された。舞台は金沢市立小將町中学校。この卒業生はみんな、歌詞もメロディも口からさっと出てくる。作詞は室生犀星、山田耕稼の作曲である。犀星は市内犀川淵の寺院で育てられ詩人、戦後小説家となった。「人は人より学び、人は人を見まじく」の一節が「戦争賛美の詩を作った反省から」と解説され、この校歌で絆を作ろうと奮闘する生徒、職員を映し出していた。私は学生時代を金沢で過ごした。母校校歌も犀星、やはり「人が4回出てくる。この中学校より10年以上経ってのものだが、戦争への苦しい思いを持ち続けたと解釈したい。作曲は信時潔、代表作は「海ゆかば」である。昨年のNHKドラマ「エール」は、作曲家・古関裕而がモデルだった。長崎の鐘、東京オリピックマーチなど、多くの有名曲があるが、戦時中は軍事歌謡で人気を博した▼山田耕稼、信時潔、古関裕而など、芸術家、他の分野でも有名な人、世に尊敬される人たちが戦争の協力者となった。命を賭して協力しなかった人も大勢いる。前首相が4年前の5月、